

I 本県幼児教育の現状と課題

1 保育所・幼稚園における幼児教育

- ① 待機児童がない（3歳児以上はほぼ100%、2歳児未満の就園率も高い）。
- ② 保育所と幼稚園の交流が少ない。
- ③ 保育所・幼稚園と小学校が連携するための制度が未整備。

2 家庭における幼児教育

- ① 共働き世帯（保護者）が多く、園に依存する傾向。
- ② 家庭教育力の低下とともに、幼児の基本的生活習慣も不足。

3 幼児の生活

- ① 幼児は幼稚園等で過ごす時間が長い。
- ② 幼児同士で遊ぶ機会や野山・自然に触れる経験が少ない。

4 「福井型18年教育」に基づくこれからの幼児教育

- ① 「福井型18年教育」のスタート期に当たる幼児教育を推進
- ② 小学校教育の基盤となる規範意識や規則正しい生活習慣を習得。

II 基本コンセプト

つながりの力で子どもたちに豊かな心、笑顔、希望を

推進期間 平成25年度～平成29年度（5年間）

1 つながりの力

- ① 保育所・幼稚園と小学校とのつながり
保育所・幼稚園が課題や知識、経験を共有し、小学校へと円滑につなげていく
- ② 親と子のつながり
親子のつながりは、幼児の心身の発達・成長の基本

2 豊かな心、笑顔、希望

- ① 規範意識 集団生活を通して、幼児が人のかかわりを深める中で、規範意識を培う
- ② 人間関係力 相手を思いやる気持ちを醸成し、感じる心を育む
- ③ 夢を育む力 目標を立ててチャレンジする意欲を高め、夢を育む力を伸ばす

III 施策体系と推進体制

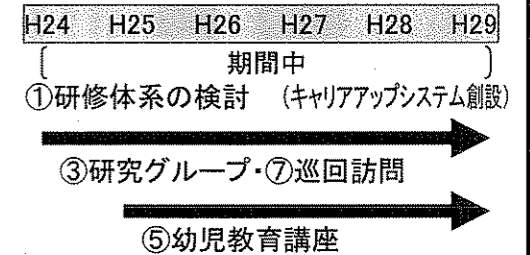
1 保育所と幼稚園の連携を強める

幼保連携推進プロジェクト

- 施策① 幼児教育キャリアアップシステム（仮称）の創設
- 施策② 先生応援隊（仮称）の創設
- 施策③ 先生による研究グループの設置
- 施策④ 幼児教育のリーダーの養成
- 施策⑤ 幼児教育講座の開催

幼児教育推進体制整備プロジェクト

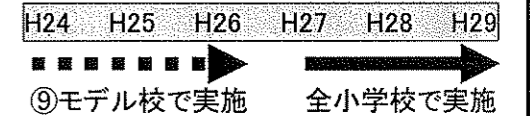
- 施策⑥ より高いレベルの幼児教育を担うための体制強化
- 施策⑦ 保育所・幼稚園への巡回訪問
- 施策⑧ 幼児にとって楽しい園庭遊びの促進



2 保育所・幼稚園と小学校をつなげる

福井型保幼小接続システム

- 施策⑨ スタート・アプローチカリキュラムに基づく教育の推進



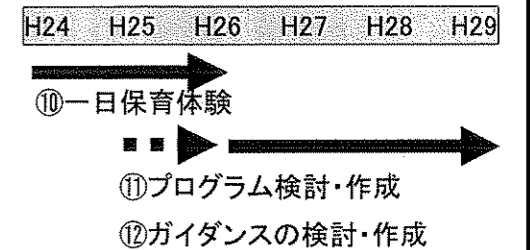
3 家庭の幼児教育力を高める

親力向上プロジェクト

- 施策⑩ 親力アドバンスコース事業（一日保育体験）による幼児教育力の向上
- 施策⑪ 親カステップアッププログラムの推進
- 施策⑫ 家庭教育の質を高めるアドバイザーの配置

孫育てプロジェクト

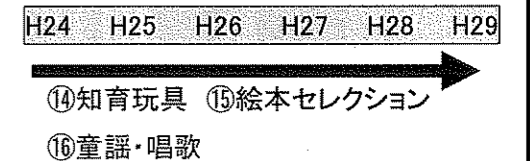
- 施策⑬ 孫育てガイダンスの実施



4 豊かな感性を伸ばす遊び・体験を促す

遊び活性化プロジェクト

- 施策⑭ 知育玩具（グッド・トイ）の普及
- 施策⑮ 興味・関心を引き出す加古里子絵本セレクションの普及
- 施策⑯ 親子自然体験学習の推進
- 施策⑰ 幼児食育体験学習の推進
- 施策⑱ 童謡や唱歌を通じた家族のふれあい促進
- 施策⑲ 幼児食育体験学習の推進



5 推進体制

幼児教育支援センター・幼児教育力向上会議の設置

- ① 幼児教育支援センター 幼児教育の情報・研究・研修機能を有する県内唯一の専門機関
- ② 幼児教育力向上会議 プロジェクトの進行管理や新たな制度創設等を協議